

1 めざす生徒像 【生徒アンケートより】

○ 目標値達成 △ 目標値未達成

		今年度達成目標	今年度達成率	R6年度
〈知〉 学びの心	授業が分かる	80%以上	○90.0%	○ 84.5 %
	学びが楽しい	50%以上	○87.3%	○ 84.6 %
〈徳〉 思いやりの心	学校が楽しい	90%以上	○93.6%	△ 86.1 %
	夢や希望を持つ	80%以上	△68.9%	△ 70.0 %
〈体〉 鍛える心	朝食を食べて登校	100%以上	△92.9%	
	部活動が楽しい	90%以上	△79.1%	△ 77.2 %

2 保護者が学校に期待すること【保護者アンケートより】

「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と答えた保護者の割合

・ 確かな学力の育成		R6年度
「学校の授業がわかる」と言っている	65.0%	60.6%
帰宅してから宿題を含めて「1時間以上の学習」をしているようだ	55.5%	57.3%
学校は、一人ひとりに応じた支援を行い、学力を伸ばす努力をしている	74.5%	59.0%
・ いじめのない学校づくり		
お子さんは、「学級が安心して過ごせる場所」だと感じている	82.8%	84.0%
子どもが気軽に話したり相談したりできる「先生」がいる	80.5%	75.3%
三者面談などを含めて「困ったことが相談できる雰囲気」がある	90.5%	87.0%
学校は、子どもの安全確保や健康管理のための取り組みを十分行っている	87.0%	83.6%
・ 自他を思いやる心の育成		
自分を大切にするとともに、友だちや他人を思いやることができる	89.8%	89.6%

3 教職員自己評価

〈学習面〉

- ・研修テーマ「確かな学力の育成に向けた授業改善」を意識して、授業改善に取り組んだ。

100%

- ・「ポイント（重要語句や考え方など）の明示（視覚化・音声化）」ができた。 100%

- ・担当教科・学級担任として「家庭学習の習慣化を図る」ことができた。 30%

〈生活面〉

- ・不登校、別室登校の生徒に対して、学年・学校体制で適切な指導をすることができた。

81.9%

- ・「いじめ防止等のための基本的な方針」に沿って、学年・学校体制でいじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めることができた。 100%

- ・教師と保護者の間により関係を築き、いつでも連携が取れていた。 100%

- ・教師と生徒の間に信頼関係があり、いつでも相談できる雰囲気がある。 100%

考察

本校は今年度の合言葉を「江南ファミリー」～ 家族だからこそその温かさと厳しさ ～と設定した。そして、生徒たちが新たな挑戦（学業、部活動等）でエネルギーを消費したら、安心できる場所（学校、学級）でエネルギーを充電して、次なる挑戦に備えるという「依存と自立のサイクル」の考えを教育理念として教職員は日頃の教育活動に取り組んだ。

生徒が積極的に授業に参加できるようにするため、授業を再構築できるようにお互いの授業を単元公開した。参観した教職員から指導、助言をもらって、生徒にとって授業がより興味が持ちやすく、楽しさがあるような実践をした。特に、ICT機器の活用を力を入れ、複数の考えを共有できるジャムボードを使用した。授業の最後に振り返りの時間を設けてタブレット端末からデータで感想を記入することで授業内容の定着を図った。また、今年度から基礎学力を補充するために、数学、英語「コース別授業」を実施した。生徒自身が自分でコースを選択して、身に付けたい学力を伸ばせる環境づくりをした。その結果、9割の生徒が「授業が分かる」、「学びが楽しい」という結果になったと推察される。

しかし、その一方で、昨年度からの課題となっている家庭学習の定着については、生徒、保護者、教職員ともにアンケート結果の数値が低かった。学校では楽しく授業ができていますが、その学習内容を定着させるための家庭学習が1時間未満の生徒が1、2年生では非常に高い割合だった。ただ、3年生になると8割以上の生徒が家庭での学習時間が増加していた。進路選択が近づいているということも原因の一つだと思われるが、放課後学習会を3年生担当職員を中心に実施したことも「放課後に学習する習慣化」につながったように考えられる。今後、長期休業に行っている学習会も含めて授業以外で学習をすることの習慣化を図っていきたい。

全体的にみると、学習面の定着には課題はあったが、生徒が安心して生活することのできる学校づくりには、生徒、保護者のアンケート結果を見るとできている。心の安定を図りながら、生徒が将来の夢や目標に向けて努力することができるサポートを来年度以降も続けていきたい。

